

1 単元名 「夏野菜を育ててピザパーティーをしよう」

2 目標

- 植物に進んで関わり、大切に育てようとすることができる。 (関心・意欲・態度)
- 植物の成長の様子や世話の仕方、自分の思いや願いなどを表現することができる。 (思考・表現)
- 季節に応じた植物があることや植物も生命をもっていることに気付き、大切にすることができる。 (気づき)

3 指導計画(全19時間)

第一次 野菜を育てよう(7時間)

第二次 野菜の育つ様子や育て方を1年生に伝えよう(7時間)

第1～2時 伝える方法を決める。

第3～6時 グループごとに発表の準備をする。 ----- (本時 第5時)

第7時 発表をする。

第三次 野菜を収穫してピザパーティーをしよう(5時間)

4 指導上の立場

(1)単元について

本単元では、第一学年の既習体験を生かし、野菜の栽培活動を行う。野菜の成長や収穫を楽しみながら継続的に世話をしていく中で、成長の様子を捉え、収穫の喜びを味わったり、収穫の恵みに気付いたりしていけるようにしたい。

また、地域の農家の方や子どもたちのまわりで野菜作りをしている方に「野菜名人」という形で協力を依頼することで、地域の方との関わりを深めることができる考える。

野菜の成長の様子や世話の仕方などで気が付いたことを誰かに伝えたいという思いが出てくると考え、文字や絵の大きさ、文章、順序などを工夫しながら、1年生に分かりやすく伝える方法を考え、発表するという活動を設定した。

最後にはみんなで野菜を使ったピザパーティーをしたいという思いをもつことで、より意欲的に栽培活動が行えるようにしていきたい。

(2)児童の実態

削除しています。

(3)指導上の工夫について

本校の研究主題『「確かな学力」と「豊かな心」を身につけた赤坂の子をめざして～情報活用能力の育成を通して～』に迫るために、次の3つの視点から支援を試みたい。

①情報収集への支援

デジタルカメラの使い方を学習し、児童が野菜の変化に気が付いた時など、記録しておきたい時にいつでも写真に撮れるようにしておく。また、疑問が生まれた時に「野菜名人」に来ていただいたり、電話や手紙で聞いたりできるようにしておく。教えていただいたことは、記録をしておくようにする。

国語科の「かんさつ名人になろう」の学習と関連付け、観察の仕方や観察したことを分かりやすく書く方法が身に付くようにする。

これまで撮っていた写真、観察カード、野菜名人に教えていただいたことの記録、本などをすぐ見ることができるところに用意しておく、必要なものを児童が選択して使うことができるようにする。その際、それらの情報量が過多にならないように、教師が選んでおく。

②表現への支援

今までの栽培活動を振り返り、「伝える相手」と「一番伝えたいこと」をはっきりさせてから活動に取りかかるようにする。

グループの人数を3～4人にすることで、相談しながらどの児童も自分の役割を持って活動できるようにする。

新聞、紙芝居、クイズ、教材提示装置の利用など、表現の仕方にはいろいろな方法があることを知らせ、伝えたい事柄や伝えたい相手に合った方法を選ぶことができるようにする。

③深め合いへの支援

表現活動では、毎時間、どのようなことをしたかを発表し合い、他のグループのよいところを取り入れ、さらによいものにしていくことができるようにする。

発表の前には、他のグループと見合いながら練習をし、友達のアドバイスを参考に見直しをすることができるようにする。また、発表で気をつけることの視点を決めて見合うことで、より分かりやすい発表へと高めることができるようにする。

5 本時案(第二次第3時)

目 標	野菜の成長の様子や世話の仕方がよく分かるように、情報を整理しながらまとめることができる。	
学 習 活 動	教師の指導・支援	評価・視点
1 本時の学習課題を確認する。	○前時の活動を振り返り、本時のめあてをつかむ。	
1年生によくわかるように、くふうしてまとめよう。		
2 グループごとにまとめる。	<p>○前時に出了工夫を確認しながら、活動の具体的な観点を示し、めあてを明確にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字を大きく書く。 ・絵を大きくかく。 ・はっきりとした色を使う。 ・1年生にわかるような文にする。 <p>○計画書に沿って順序立ててまとめられるようにする。</p> <p>○これまで撮っていた写真、観察カード、野菜名人に教えていただいたことの記録、本などから、見えそうなものを用意しておき、必要なものを児童が選択して使うことができるようにする。</p> <p>○自分なりに工夫してまとめている児童やグループを称揚する。</p> <p>○広げたい工夫については、教師が取り上げて紹介する。</p> <p>○絵や字の大きさや文章の表し方など、「1年生に伝える」という視点で見直ししながら進められるように声をかける。</p> <p>○何をしてよいか分からない児童については、同じグループの児童と相談したり、計画書のできていない部分に取りかかったりするよう声をかける。</p>	<p>① ② 必要な情報を集め、1年生によくわかるように工夫してまとめることができる。 (思考・表現／観察)</p>
3 工夫したところを発表する。	<p>○いくつかのグループに本時に工夫したことを発表させることにより、それをもとによいところや分かりにくいところを伝え合うことで、他のグループのよいところに気づいたり、自分たちのグループの表現に生かしたりすることができるようにする。</p> <p>○発表していないグループにもよいところがあれば、教師が取り上げて紹介する。</p>	③
4 学習のまとめをする。	○各自が本時でがんばったことや次に頑張りたいことを振り返りカードに書くことで、次の学習につなげることができるようにする。	

6 単元構想

次	時	主な活動	児童の意識と思考の流れ	指導事項・留意点
一	1	○どんな野菜を植えるか決めよう。	○カレーがいいかな。ピザがいいかな。 ○ピザをつくるためには、どんな野菜を育てたらいいかな。	○夏野菜にどのようなものがあるか出し合った後、自分たちの食べたいものを話し合い、植える野菜を決めることで、自分たちで野菜を育てたいという意欲が高まるようにする。
	2	○夏野菜の育て方を調べよう。	○トマトの育て方がわかったよ。 ○同じナスでも聞いてきた育て方が友達と少し違うな。 ○調べただけではよくわからないから、野菜名人さんに教えてもらおう。 ○うちのおじいちゃんは、野菜作りにくわしいよ。	○事前にワークシートを渡し、各自が家の人に聞いたり、インターネットで調べてきたりしたことを発表することで、自分たちで育てるという意識が高まるようにする。
	3 ～ 7	○夏野菜を育てよう。	○野菜名人さんに教えてもらったら上手に苗が植えられたよ。 ○名人さんがナスは水をたっぷりやらないといけないと言っていたから、水やりを頑張ろう。 ○葉っぱが虫に食べられているよ。どうしよう。 ○花が咲いたよ。かわいいな。 ○小さな実がなったよ。うれしいな。 ○1年生に野菜の育て方を教えてあげたいな。	○野菜ごとのグループを決め、2人で一つの苗を植えたり、看板を作ったりすることで責任と愛着をもって育てることができるようにする。 ○草をとったり、支柱にくくりつけたりなどの野菜の世話をする時間を定期的に確保するようにする。 ○世話をした内容や野菜の成長の様子を「はっけんカード」に記録するようにする。 ○子どもたちの疑問が出てきた頃に野菜名人さんに来ていただき質問ができるようにする。
二	2	○1年生に野菜の成長の様子や世話の仕方を教える方法を決め、発表会に向けての計画を立てる。	○教材提示装置を使うと分かりやすそうだな。 ○野菜が育つ順番に紙芝居を書いていこう。	○いろいろな方法で伝えることができることを知らせ、児童が表現の方法を選択できるようにする。 ○計画が書き込めるワークシートを用意し、グループごとに話し合って計画を立てることにより表現活動の手がかりとなるようにする。
	3 ～ 6	○グループごとにまとめる。	○写真や観察カードが使いそうだな。 ○本で調べて詳しく書こう。 ○1年生の人に分かる言葉で書こう。 ○絵はこの大きさで見ることができかな。	○これまで撮っていた写真、観察カード、野菜名人に教えていただいたことの記録、本などを、すぐみられるところに用意しておき、必要なものを児童が選択して使うことができるようにする。
	7	○1年生に伝えるための発表会をする。	○1年生に野菜の育て方を教えてあげよう。 ○一生懸命聞いてくれてうれしいな。	○話し方・聞き方を事前に学習し大きな声でゆっくり話すことができるようにする。
	1	○野菜の収穫をしよう。	○次々に大きくなるよ。うれしいな。 ○茎を傷つけないように丁寧に	○収穫時期にばらつきがあるのでできた野菜は順番に家にもって帰るようにする。ある程度どの

三			とろう。 ○はやくピザパーティーをしたいな。	野菜も収穫できるようになってきたら、ピザパーティーの計画を立てる。
	2	○ピザパーティーの計画を立てよう。	○おいしいピザを作りたい。 ○野菜はおいしくできているかな。楽しみ。	○グループ決めや作り方の確認をする。
	3 ~ 4	○ピザパーティーをしよう。	○包丁で切るのは楽しいな。 ○全部の野菜を少しずつのせてみよう。 ○ピーマンはきらいだけど、少しのせてみたら、食べられたよ。 ○自分たちで育てた野菜はおいしいな。 ○おいしかったから、家でも作ってみたいな。 ○こんなおいしいピザが食べられるのも名人さんのおかげだな。	○手順を示し、安全に気を付けて調理できるようにする。特に、包丁は危ないので、使い方をきちんと指導してから、取りかかることができるようにする。 ○簡単に調理でき、各自でトッピングが工夫できるように、ギョーザの皮を用いたピザにする。 ○きらいな野菜も少しはのせて食べてみるように声をかける。 ○野菜名人さんにも来ていただき一緒に会食することで、感謝の気持ちを表すことができるようにする。
	5	○振り返りをしよう。	○お世話はいへんだったけど、おいしい野菜ができてよかったな。	○今まで書いてきた「はっけんカード」を見ながら、話し合うことによって活動を振り返る。